

コミュニティFM放送局と連携したラジオ作り教室の開催について

東海総合通信局(局長 北林大昌)は、知多メディアネットワーク(株)(メディアスエフエム)及び愛知県電波適正利用推進員協議会とともに、令和4年8月25日(木)、東海市芸術劇場においてラジオ作り教室を開催しました。本教室は午前・午後に分かれて開催し、合計で小中学生29名及びその保護者26名が参加しました。

総務省では、電波の適正な利用に関する周知・啓発活動として、電波の仕組みや身近な電波の利用について興味を持ち、電波の正しいルールについて楽しく学んでもらうことを目的に、電波教室を開催しています。特に東海総合通信局では、地域社会に根付くコミュニティFM放送局と協働で、地域と一体となった身近な周知・啓発活動に積極的に取り組んでおり、地域による電波の適正利用が身近なことであること等を普及促進しています。

ラジオ作り教室では、まず、総務省職員から電波のルールの必要性について説明をしました。その後、電波の性質やどのように利用されているかを分かりやすく説明したDVDを視聴しました。

続いて、メディアスエフエムの職員が進行役となり、電波に関するクイズを解くことにより、子供達は電波について楽しく学びました。

ラジオ製作では、電波適正利用推進員からラジオの仕組みや半田ごての使い方等について教えてもらい、参加者全員がラジオを完成させました。

当日は、メディアスエフエムによるラジオ放送の生中継が実施され、自分が作成したラジオのスピーカーから、自分達の声が聞こえた際には、会場に子供達の歓声が上がりました。

参加した小中学生からは、「半田ごてを使うのが楽しかった。」「ラジオから自分の声が聞こえた時には感動した。」「災害等があったときには是非使ってみたい。」との感想が寄せられました。また、保護者からは、「電波には適正な周波数があることを学びました。」との声があり、大変有意義な活動となりました。

ラジオ作成後、午前・午後の部それぞれ、自作ラジオと共に記念撮影をして、ラジオ作り教室は終了しました。



電波って、なあ〜に？(三択クイズ)



ラジオ製作



ラジオ作り教室修了後の記念撮影

